

水産業強化支援事業事後評価報告書

		静岡県
政策目的	漁港機能の高度化	
政策目標	漁港機能高度化目標	29-3
事業実施主体	伊豆漁業協同組合	
実施地区名	稲取地区	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	平成29～30年度	令和2年度
交付金額	79,042,000円	
事業計画の内容	海業支援施設（直売所）の新設	
評価	成果目標	入込客数の増
	現状値	89,591人（令和2年度末時点）
	目標値	93,650人
	(1) 現状値の説明	令和元年度 入込客数実績 96,097人 令和2年度 入込客数実績 89,591人 令和元年度は、オープンの年でもあり目標値をクリアしたが、令和2年度においては、新型コロナウイルスの影響により、休業、来遊客の減少等により目標値を若干下回った。 なお、入込客数はレジ通過者であり、来店客数は目標をクリアしたものと思われる。
	(2) 地域への経済効果 （ハード事業のみ）	以前の直売所は売り場面積が狭く、販売量や取扱魚種が限られ、定置網で水揚げされた地魚も十分な供給ができなかった。 当事業の直売所整備により、町内外住民への販売強化をはじめ、農漁協組合員の所得向上（出品による）、直売所就業者の創出等、地域経済への向上に寄与できたと考えられる。
(3) 所見	農協とコラボした直売所は、全国的にも珍しく、日常利用の地元消費者のみならず、観光客も多数来訪し、漁港を中心とした賑わいの地となっている。しかし、世界規模で猛威を振るう新型コロナウイルスによって、令和元年度は対目標値2.5千人増(+2.7%)であったレジ通過者数が、令和2年度においては、対目標値4千人減(-4.2%)となり、売り上げも含め、伸び悩みの状況がみられた。	
(4) 評価機関への意見等	該当なし	